

丹波縄文の森塾 活動報告

令和8年1月17日（土） 晴／曇



幼虫観察



午前中は、冬の里山散策の予定を変更して、オオムラサキの幼虫観察とドングリ工作を実施しました。丹波の森公苑にあるオオムラサキ飼育ケージ内の落ち葉を集め、創作工房で広げて、幼虫の数を数えました。バケツ1杯分の落ち葉についている幼虫を数えてみると207頭もいてビックリしました。

ドングリの工作では、秋に拾ったドングリを使って、いろいろ個性的な作品ができました。ドングリにグルーガンで目をつけたり、帽子をかぶせたり、かわいいドングリたちができました。素敵なプレゼントにもなりそうです。



午後は、森林インストラクター・野遊び研究家の山崎春人さんに廐の作り方を教えてもらいました。「ぐにゃぐにゃ廐」という廐で、材料は、ナイロン袋、竹ひご、セロテープ、マジック、廐糸のみ。



完成した廐に、思い思いの絵を描きました。簡単に作れそうでしたがビニール袋を切ったり、廐ひもをむすんだりするのに苦労しました。完成したら、芝生広場で廐揚げをしました。風を受けてどんどん空高く上がっていきました。

きょうの昼食は、大納言小豆のおこわにワカメと玉子のふわふわ汁。前回のお餅つきで残っていた餅米を全部使ってもらいました。おこわもお汁もとってもおいしかったです。今回で今年度の昼食は終わりになります。調理サポートのみなさん、これまでおいしいご飯をありがとうございました。

廐作り



廐揚げ

